

佳作

おにいちゃんのみもち

福島県 会津坂下町立坂下東小学校一年 石田 なるみ

わたしには、五ねんせいのおにいちゃんがいます。にいには、まいにちわたしのことをおこります。テレビをみていると、

「なる、もっとはなれてみなさい。」

というし、そとにいくときは、

「なる、ぼうしかぶって。」

というし、かいだんをおりていると、

「なる、てすりをつかんでおりなさい。」

っておにのかおをします。おかあさんに、

「にいには、わたしのことおこってばかり。わたしのときらしいのかな。」

ときくと、

「そのはんたいだよ。にいには、なるのことがだいすきでだいじだからおこるんだよ。けがしたらなるがかわいそうだから、しんぱいなんだよ。」

とおしえてくれました。「にいにはわたしのことすきなのか。しんぱいしてるんだ」とうれしくなりました。

なつやすみにこうえんのブランコであそんでいたら、

「なる、てはなしちゃだめだよ。」

「なる、それいじょうたかいはあぶないよ。だんだんかえるじかんだよ。」

といってブランコをとめてしまいました。「もっとのりたかったのに」っておもったけど、

「いに、しんぱいしてくれてありがとう。おうちにかえってアイスたべたいね。」

といったら、にいには、

「あぶないからね。」

といって、てをつないでくれました。にいにはわたしをだいにしてくれてるんだな、とおもったら、

うれしいきもちになりました。かえりみち、

「なる、ブランコたのしかった？ひとりではのっちゃだめだよ。」

とやさしくおしえてくれました。

「わかったよ。にいにがいっしょのときだけのるからだいじょうぶ。」

といったら、にいにがてをぎゅつとにぎってくれました。にいには、おおきくてとてもやさしかったです。うちにかえってすぐにアイスをたべようとしたら、

「なる、てあらいうがいしないとバイキンだらけだよ。」

とまたおこられてしまいました。

おこるとこわいにいにだけど、がっこうでこまっているとたすけてくれます。べんきょうやおりがみのおりかたをおしえてくれたりひとつしかないおやつは、はんぶんにしていっしょにたべます。ほんとうはやさしいにいです。きつとこれからもまいにちおこられるけど、わたしはいにのことがだいすきです。